



はなつと通信

イベント報告 8月16日(土)『星空ナイトシアター』

夏の定番イベント「星空ナイトシアター」を開催しました。親子やご夫婦などの方々に、夏休みの夜に素敵な思い出を作ってもらいたいという想いで実施し、約100名の方にご参加いただきました。

芝生の上に大きなスクリーンを設置し、自然の家のスタッフ、近隣小学校の子どもたちとその保護者の方々に協力いただき、宮沢賢治の名作「銀河鉄道の夜」を朗読しました。また、「ECOM 竹燈」ご協力のもと、園路を竹燈籠でライトアップすることで、より幻想的で雰囲気のある場所となりました。朗読の後は、物語の中に出てきた星たちを実際の夜空で見ることができ、星が見えた瞬間には、思わず「わあ」という歓声と拍手。最近では、夜になっても街中が明るく、キレイに星を見られる場所が少なくなっているため、貴重な体験となったと思います。夏休みに、自然の中でゆっくりと過ごすことで、自然の心地良さを感じてもらおう素敵な夜になったのではないのでしょうか。

臼井(あつし)



お知らせ

宿泊利用のご予約について

●平成27年7月、8月、10月の宿泊予約について

10月1日(水)から、平成27年度の「夏休み期間<7月20日(月)~8月30日(日)>」と「平成27年度10月」の施設利用予約の受付が始まります。ご利用をご検討中の皆さま、ぜひお電話お待ちしております。

●冬期間のお得な情報!

***50名以上の宿泊で貸切利用が可能!!** ※平成26年12月1日(月)~平成27年2月28日(土)
貸切でご利用いただくと、他団体の動きを気にせずにプログラムを組み立てることができるので「1日中体育館を使用し、みっちり練習!」といったことも可能です。部活動の冬合宿等にも利用しやすいのではないのでしょうか。ご予約は先着順となっております。ご宿泊での利用をご検討中の皆さまは、ぜひお早めにご予約ください。

*25名以上の宿泊利用で、宿泊料金が割引!! ※平成27年1月限定

- ・子ども 1,300円 → 800円 ※3歳以上中学生以下
- ・高校生 2,000円 → 1,500円
- ・おとな 2,500円 → 2,000円 ※18歳以上

【発行元】南房総市大房岬少年自然の家(所長 神保 清司)

(指定管理者) NPO 法人千葉自然学校
〒299-2404 南房総市富浦町多田良 1212-23
メール: taibusamisaki@chiba-ns.net

電話: 0470-33-4561 FAX: 0470-33-4564
ホームページ: <http://taibusa.jp/>

はなつと・・・房州弁で「岬(先端)」。大房岬から、たくさんの耳よりな情報をみなさんにお届けします!

たいぶさ 大房岬の近況報告



日差しもだんだん和らいできて、大房岬もすっかり秋めいてきました。秋は“スポーツの秋”、“芸術の秋”というようにいろいろなイメージがわきやすい季節ですが、皆さんはどんな秋をイメージしますか?

私は「実りの秋」をイメージします。もちろんサツマイモやキノコなどおいしい実りもたくさんありますが、大房岬にもうれしい秋の実りがあります。そのひとつが「ドングリ」です。実は“ドングリ”という名前の木の実はなく、色々な種類があります。大房岬には人間も食べることが出来る「マテバシイ」を始め、ちょっと太っちょな「クヌギ」や、スマートな「スダジイ」など5種類のドングリがあります。

そしてこのドングリ達は岬を訪れる子ども達のかっこうの遊び道具となります。穴をあけてコマを作ったり、くり抜いて船を作ったり、時には、誰がたくさん集められるか競争したりなど、子ども達の遊びのアイデアは無限大。とても楽しそうな様子が見られます。秋の岬を訪れる際はいろいろなドングリを探してみたり、他にはどんな実りがあるのかな?と、のんびり散策を楽しんでみてください。

所長の目線

「子どもたちと絵本を読んだら、その時間と同じだけ空想にふける時間を取ってあげましょう。」

かれこれ10年ほど前に聞いた言葉です。なぜ空想にふける時間が大切なのかの理屈はさておき、子どもがぼーっと空想にふけるその場面をイメージして自分事で考えると、私には非常に腑に落ちる言葉でした。恐らく自分の幼少期にもそんな時間や空間があったのだらうと思います。

私たちの提供する自然体験プログラムではどうでしょう。振り返ってみると指導者は常にベラベラしゃべり続けたり、注意を続けていたりしていないでしょうか?ときには、只々空を流れる雲をぼーっと眺める時間があってもいいではありませんか。「アイスブレイク」では必ずゲームをしなくてはならないっ!なんて思いこんで力んでいる指導者を育成してはいないかとハッとしてしまいます。

施設の運営も然りです。予算の確保やら経費の捻出やらに心を囚われすぎると、立ち止まり、振り返ることなく大切なことを置き去りにしてしまいます。「間」や「時間」の取り方を大切にしたいものです。

●休所日情報● 10月~12月の休所日は次の通りです。

- 10月4日(土)、10月20日(月)、11月17日(月)、12月2日(火)~3日(水)
- 12月8日(月)、12月29日(月)~31日(水)



プログラム紹介 ★自然感察ポイントラリー★

秋の気配が感じられる季節になってきました。日差しも和らいで、大房岬を歩いて回るのには心地が良い季節です。気ままに歩くのも楽しいですが、せっかくなので五感を使って回ってみませんか？

そんな活動をしてみたいと思った方々に良いプログラムがあります。「自然感察ポイントラリー」です。地図を見ながら、記されたポイントへ向かいます。そのポイントで五感を使ったアクティビティーを行うというものです。生き物を探したり、風を感じたり、自然のにおいや音、色を感じたりなど、ゆっくりじっくり自然を味わってみませんか？



地図やアクティビティーシートです。これを使って五感を刺激します。

森の中にやってきました。木を触っています。つるつる、ざらざら？どんな感触がするかな？



広場にやってきました。寝転がってゆったり自然を感じています。いろんな自然が味わえますよ。

ごはんのはなし

●○○ 匠の技 ●○○



大房食堂では、日本食の料理人である料理長が自然の家に合わせたメニューを作り、食事の提供をしています。仕込みの段階から様々な技や工夫が隠されています。

技の種類には隠し包丁等色々ありますが、大房食堂では、料理をいかに美味しくするかを考えています。その一つに、給食業界ではあまりやらない米を機械ではなく、手で研いでいて、より御飯を美味しく食べられるようにしています。理由として、御飯は日本人ならば一番馴染み深く口にすべ食物であり、御飯が美味しくなければすべてが美味しくないと考えられるからです。今年は例年より少し早く、8月から新米（ふさおとめ・ふさこがね）を提供することができました。

是非、大房食堂の料理を食べに来てください。

臼井（あつし）

野遊び日和

第2回「カヤックフィッシング」



カヤックフィッシング。あまり聞き慣れない言葉かもしれませんが「カヤック」で漕ぎ出し「カヤック」から釣りをするという極めてシンプルな遊びです。夜明けを待ち、お気に入りの釣りを積み込んだカヤックで朝焼けの中を漕ぎ出す瞬間、今日こそは大物が釣れる気がする！と毎回胸がはずみます。いつも陸から見ていた届かない潮目、あの離れ岩。カヤックはその距離を自分の力で超えさせてくれます。たどり着いた自分一人だけのポイント、釣る気に逸る気持ちと、海原に動力を持たないカヤックで一人きりという不安が常にせめぎ合います。パドリングスキル、セルフレスキュー、天候を読む力等を磨き、まだ見ぬ夢の大海を追いかけろ。勝手知ったるいつものフィールドをまるで別世界に変えてしまう「カヤックフィッシング」。海水浴シーズンの終わったこれからは出艇しやすい場所も増え、入門に適した季節です。海に囲まれた南房総では是非体験してみてください。 岩崎（キャンディー）

みなみぼうそう たくみ きく 南房総の匠に聴く

vol. ⑧ NPO法人大山千枚田保存会



理事長 石田三示さん

Q: 活動を始めたきっかけは何ですか？

保存会の立ち上げ以前、ここの棚田は観光客の通り道でした。「この素晴らしい環境を活かして何か地域を元気にする活動ができないか？」と考え、保存会を立ち上げました。地元の方々に支援者として関わってもらっていますが、都会の方が地域に入ってくることに理解をいただくため、2年間の準備期間でツアーの受け入れを行い、棚田オーナー制度をスタートしました。

Q: 団体向けにはどのような事業を実施されていますか？

田植え等の農作業体験、まつり寿司作りや藍染体験、わら細工体験等を行っています。わら細工体験では大山千枚田で育ったお米や藍を使っています。棚田の自然観察ではカエル等を観察することで、生きものが生活できる環境を守っていくことの大切さを伝えています。「あるものを見直す」ことに視点を置き、ここでやる意味のある事業を私たちに展開しています。

Q: 事業をされる中で、大切にしていることは何ですか？

支援者の方々は兼業農家が大半で、定年後も保存会の活動に関わっています。地域が元気になるために、地域に仕事を作ることも保存会の大切な仕事の一つです。農業をやるためには田んぼだけを考えるのではなく、森を整備しきれいな水を得られる環境を保っていくことも必要です。今は特に子どもたちの体験に力を入れていますが、体験が子どもたちの生き方や暮らし方のベースになれば良いと考えています。

Q: これからの夢を教えてください。

2015年に農家レストランのオープンを予定しています。料理を作るのは地元のお母さんたちです。この地域の家庭で食べられているものを、地域の食材を使って提供していきます。これからも地域に足をしっかりつけて、地域の食文化や歴史について伝える体験を実施したいと思います。

*体験の内容等、詳細は直接お問合せください！

棚田倶楽部 04-7099-9050

たいぶさ進化論

大房岬少年自然の家のHPが見やすくなりました！



施設の空き状況がカレンダー表示になりました。空き状況が月ごとに一目瞭然！より見やすく、わかりやすくなりました。

空き状況のページはトップ画面からすぐに移動することができます。受付を開始している月まで全て表示されていますので、自然の家の利用をお考えの方は、ぜひHPをチェックしてみてください！

<http://taibus.jp/kuushitsu/>

花嶋（ぼによ）

スタッフのつぶやき

テーマ「この秋始めたいスポーツ」
スタッフの意外な一面(?)を紹介します。

せっかく海のそばに引越して来たのだから、サーフィン!! 岩崎（キャンディー）

運動不足気味なので、まずはウォーキングから始めたいと思います。 臼井（あつし）

素潜り・ドルフィンスイム技術向上のためのほんまのスキンドайビング講習 香山（かやまん）

ずーっと実行に移せていない、自転車購入とウォーキング。この秋こそ...! 齋藤（みら）

繁忙期欠席していた週一回のフットサルを再開。ケガだけはしたくない。 神保（ジン）

ボールを蹴りたい。走りたい。汗かきたい。→フットサルがしたい! 仲間求ム! 花嶋（ぼによ）

ゴルフです。今年こそコースデビューするぞ! 平川（わかめ）

この時期に遣り出す、スポーツといえるかわからない地獄のダイエット 松田（料理長）

秋登山+トレイルランニング! 足腰をしっかり鍛えたいです! 山崎（だいすけ）